

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52306	保育内容（環境） Child-care Contents (Environment)	新美 順子	✓		1	必修	1後期

科目の概要

この授業では保育者として求められる保育内容の領域「環境」を学ぶものである。子どもの成長発達を促す環境を探求し、子どもを取り巻く身近な環境（人・物・自然・社会・文化など）について理解する。指針、要領に示す領域「環境」のねらい・内容を視聴覚機器を活用しながら講義を通して基礎を学修する。さらに、自然観察、SDGsの取り組み等の具体的な指導方法を体験学習することで、生命の大切さや尊さに気づき保育者として子どもに伝える重要性を理解する。獲得した専門的知識・技術を活用し、保育実践に応用できるように学ぶ。これらの内容は、ディプロマポリシー①～④、⑥に相当する。★幼稚園教諭・保育士としての実務経験があり、環境を通じた保育の実践を活かした講義や実践的な演習を行う。

学修内容	到達目標
① 領域「環境」とは何か、子どもにとって環境構成とはどのような意味があるのかを学修し指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。 ② 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「環境」のねらいと内容や指導上の留意点を理解する。 ③ 幼児の認識や思考・行動等を視野に入れた保育を構成するために自然観察や子どもとの関わりを通じた指導計画の作成、実践や視聴覚教材を使用した指導法等を身につける。 ④ 幼児期の特性や各領域との関連性を考慮し、ねらい・内容を理解し総合的に保育を構想することができる。 ⑤ 安全教育、近隣社会、小学校との関連性等を理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにする。	① 保育における領域「環境」は子どもにとってどのような意味を成すのかを理解し、その指導場面を想定して保育を構想する方法を身につけることができるようになる。(D.P.①②③) ② 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「環境」のねらいと内容や指導上の留意点を理解することができる。(D.P.①②③) ③ 幼児の認識や思考・行動等を視野に入れた保育を構成する方法を身につけるために、自然観察や子どもとの関わりを通じた指導計画作成、実践や視聴覚教材を使用した指導法等を修得する。(D.P.①③④) ④ 幼児期の発達の特性や各領域との関連性を考慮し、ねらい内容を理解し総合的に保育を構想することができるようになる。(D.P.①③④) ⑤ 安全教育、近隣社会、小学校との関連性を理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現できるように取り組むことができる。(D.P.①③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。
	働きかけ力	保育環境に対する知識や必要な教材等に対し、調べたり習得し活用しようとする。
	実行力	子どもの姿・興味関心を予測し環境の構成を積極的に考えることができる。
考え抜く力	課題発見力	保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。
	計画力	子どもの姿から必要な保育環境とは何か保育者としての姿勢や知識を習得し計画に活かす。
	創造力	課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。
	傾聴力	相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。
	柔軟性	相手の考えを受け入れながら自身の知識を広げたり活用したりする。
	情況把握力	保育環境について考え合う中で、目的に向かい共に力を発揮する姿勢をもつ。
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	保育環境について考え合う中で、目的に向け相手の考えを受け入れたら自身考えを調整したりしながら活動する姿勢をもつ。

テキスト及び参考文献

テキスト：事例と演習でよくわかる保育内容「環境」中央法規 2000円、「幼稚園教育要領解説平成30年3月」「保育所保育指針解説書平成30年3月」「幼保連携型認定こども園保育教育要領平成30年3月」、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園保育教育要領」 フレーベル

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉）
 資格との関連：幼稚園教諭二種・保育士

学修上の助言 **受講生とのルール**

自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。	テキストや指針や要領を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと 提出物は期限を守って提出すること
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	55	①	✓	・保育における環境を理解する 20点 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針平成30年3月の領域「環境」について理解する。 35点 記述的な問いを入れ、獲得した知識・技術を活用し、課題に対して応用的に考えが述べられているかを評価する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		35	①	✓	演習の支度に不備がない。5点 演習の作業に対し積極的に取り組み、成果が結果として表れている（観察ノート）30点		
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 （実行力）子どもの姿・興味関心を考え環境の構成を考えようとする。 （課題発見力）保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 （創造力）課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 （発信力）自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業を円滑に進行できるようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保育内容環境を理解し保育の内容を意識して構成する力を持つ。実際の保育を想定し子どもの姿・興味関心に即した環境の構成について保育者を意識した取組ができている点を総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	作品、レポートなど課題の提出期限を守り、保育者を意識した取組ができている点を総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 保育内容(環境)とは何かを考える	講義 グループ討議「子どもと環境について」	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知ることができる。環境は人が生きていくうえで大切なものであることや、幼児教育にとっての重要性を認識することができる。	(予習) 保育所保育指針解説書 p14~16を読み、幼児教育における環境の受容性について、自分なりの考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業振り返り、まとめておく。	45	主体性 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2	子どもの発達にふさわしい環境について、物的環境に視点を当て、事前的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。グループ討議「環境が子どもに与えるメッセージ」発表を解説し、発達に応じた環境と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、子どもにとってふさわしい環境について、保育者としての見を持ち、発表することができる。他者の意見を聞いたことを受けたりすることを通して、子どもにとってふさわしい環境について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
3	子どもの地域社会との関わりについて、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。学外学修「園外環境」について理解し、乳幼児が関わる地域の環境について、安心安全を保障する際の保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児が地域社会に関わる際の援助について、保育者としての見を持ち、発表することができる。他者の意見を聞いたことを受けたり、実際に公園等に行くことで、乳幼児が地域社会へかかわる際の安心安全の保障や保育環境・援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 子どもの地域社会との関わりについて、テキスト130~135ページを読んでおく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	子どもの身近な自然を保育に取り入れる方法を実践的に学ぶ。	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。講義 保育所保育指針等における領域「環境」のねらいと内容について保育で育んでいきたい 3つの柱・10の姿 本日の振り返りと質疑応答をしフィードバックする。	保育者として自然物に興味をもち、それを生活や遊びに取り入れる方法を実践的を通して理解することができる。	(予習) 学内の「自然」を探し、把握しておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	子どもの文字等に対する興味・関心、理解の発達について、実践的に理解する	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。グループ討議「子どもの文字等への関わりに対する捉えと援助」発表を解説し、乳幼児の文字等への関わり方の発達と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児の文字等への関わりに対する援助について、保育者としての見を持ち、発表することができる。他者の意見を聞いたことを受けたりすることを通して、乳幼児の文字等への興味・関心と理解の発達や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	子どもの科学的概念に対する興味・関心、理解の発達について、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。グループ討議「子どもが玩具への関わりに対する捉えと援助」発表を解説し、乳幼児の物への関わり方の発達と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児が物に関わる際の援助について、保育者としての見を持ち、発表することができる。他者の意見を聞いたことを受けたりすることを通して、乳幼児の科学的概念への興味・関心と理解の発達や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	教材研究①「身近な自然物を使った製作」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。演習「身近な自然物を使った製作」	身近な自然物に興味・関心をもち、積極的に活動に参加することができる。身近な自然物の教材的価値を理解することができる。	(予習) 事前準備として、森林や公園等で木の実や小枝、落ち葉などを集めておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	教材研究②「身近な自然物を使った玩具」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。演習「身近な自然物を使った玩具作り」	事前に作成する玩具について調べ、必要な材料、用具を用意し、授業時間内に作品を完成させることができるよう、必要な準備等を事前に済ませておくことができる。乳幼児が作製する、もしくは遊ぶことを想定しながら、玩具を作製したり、作品の省察を行ったりすることができる。	(予習) 事前準備として、身近な自然物を使った玩具を考え、必要な材料、用具を用意する。また、必要に応じて、授業時間内に作製し終えることができるように準備しておく。 (復習) 作品に対する省察を行う。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもにとって「身近」である意義について、理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。グループ討議「身近であることの教育的意義」発表を解説し、保育において「身近である」ことの意義について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児にとって身近であることと意義をについて、保育者としての意見を持ち、発表することができる。聞いたたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児にとって身近であることの意義について、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	材研究③「身近な素材を使った玩具」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。演習「身近な素材を使った玩具作り」を通して、活動のねらい・内容、環境構成について、考える。	身近な素材を使った玩具作りに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。活動から、ねらい・内容を導き出すことができる。発達に応じて、活動のねらい・内容が異なることが理解できる。	(予習) 授業内で指定された材料、用具を用意する。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	教材研究④「わらべうたあそび(1)」	演習「わらべうたあそび」を通して、活動のねらい・内容、環境構成に正について、考える。	伝統的な遊びに興味・関心を持ち、積極的に遊びを調べ、まとめることができる。伝統的な遊びの教育的価値を理解することができる。	(予習) 乳幼児と楽しむことができるわらべうたあそびを3つ以上調べて、発表することができるようにしておく。 (復習) 調べたわらべうたあそびを他者に伝え、遊びを進めることができるようにしておく。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	材研究⑤「わらべうたあそび(2)」	グループで、各々が調べてきたわらべうたあそび(集団遊び)を体験する。	伝統的な遊びに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。グループ内で扱った活動の教育的価値について考えることができる。	(予習) わらべうたあそび(集団遊び)を調べ、資料を作成し、他者に伝え、遊びを進めることができるようにしておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	保育の過程について学ぶ。子ども理解から計画、実践、改善のPDCAサイクルを理解する。	演習 グループで取り上げた活動の指導計画案を作成する。	これまでの学修を踏まえ、活動のねらい・内容、環境について、保育者としての考えを持ち、発表することができる。積極的に話し合いに参加し指導計画案を立案することができる。	予習) グループで取り上げた活動について、ねらい・内容、環境について考え、プリントに記入しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	乳幼児期にふさわしい環境とはどのような環境であるか、また、それを整えるために必要な保育者としての知識について理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。グループ討議「乳幼児期にふさわしい環境とは」発表を解説し、乳幼児期にふさわしい環境について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児にふさわしい環境とはどのような環境を指すのか、保育者としての考えを持ち、発表することができる。環境を整えることは保育者の重要な役割であることを理解し、そのために必要な知識や態度について理解することができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	乳幼児期の発達における環境との関わりについて、実践や現代的課題について学ぶ。保育内容・領域「環境」と保育者の役割を再確認する。	これまでの学びのまとめレポートの作成	幼児と環境で学んだことを保育実践に活用しようとする知識、技術、意欲がある。	(予習) 配布資料、保育所保育指針解説の該当ページを読み返しておく。(復習) これまでの学修を振り返り、まとめレポートを作成する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力